

太宰府中学校2学年だより

No.30

R2.1.22

文責：石橋 眞子

知識は誰にも奪われることのない財産

学力診断テスト、期末考査に向けて「なぜ勉強するのか」を再考してみましょう

今月末は「学力診断テスト」が行われます。この日は、3年生の私立高校前期入試の日でもあり、ほとんどの先輩方が、同じ時間帯に、どこかの私立高校で試験を受けるのです。

学力診断テストの試験範囲は、昨年末の学年通信に掲載していました。（なくした人はいないと思いますが、老婆心で裏面に再度掲載させていただきます。）

さらに、来月13日・14日には後期期末考査があり、この間、連続して大きなテストが行われることとなります。

皆さんの心中は、「どこから勉強していいか…」という不安や「もう諦めようかな」という絶念、拳げ句の果ては「何でこんなに勉強しないといけないんだ」といういらだちのような思いをもっているのではないのでしょうか。

「どうして勉強しないといけないのか」これについては、以前学年通信で「大工になった教え子の話」で触れました。今回、面白い記事があったので、また、別の角度から伝えたいと思います。

皆さんは、GACKTというアーティストを知っていますか。私は、彼の歌はよく知りませんが、毎年元日にあるテレビ番組は欠かさず見ています。芸能人が、肉やワイン、楽器演奏や生け花等を堪能して、どちらが高級品かを当てる番組です。浜田雅功さんの絶妙なトークによる司会で、番組は大いに盛り上がり、今やお正月のお茶の間の人気番組として定着しています。

GACKTさんは、初主演以来一度も答えをはずしていません。番組で、「どうしてそこまでできるのかを問われたとき、彼が非常に興味深いことを語っていました。

「自分でも気づいていなかったんです。番組の収録が始まる1カ月前からお腹痛くなったりするんです。ストレス感じているのかなと思っていたりしたんですけど…」。

「自分が知らないことでも、知らないからできないじゃなくて、勉強すればできるんだってことを見せたいなって。そういう意味では、肉やワインの部分では、勉強しているではなく、アップデートはしています」

「美味しいワインを飲むから美味しいワインが分かるのではなく、ワインを飲むときに、これはどんなワインなのか、いつできたのか、どんな風に作られたのか…と知識として体の中に入れていく行為があるから覚えるわけであって。飲んでいてだけで分かるようになったら天才じゃないですか」

「もし僕が、今一切家も、車もお金も周りにいるスタッフがなくなったとしても、もう一度一からやりなおせるかと聞かれたら、自信を持って『できる!』って答えます。それはなんで?と聞かれたら、僕には知識と経験があるから。でも知識と経験は誰にも奪われることのない一番の財産だと思いませんか?」と持論を展開した。



どうですか。私はこの言葉を聞いて「言い得て妙! (何かを的確に言い当てている様子を表す慣用語)」だと感じました。皆さんの心にはどのように響きましたか。

因みに、1組の学級通信には「勉強はやらされるものではない。将来の自分への投資だ」と書かれています。これも「言い得て妙」ですよ。